



国際サラブレッド生産者連盟 (ITBF) によるウェブセミナー録画動画公開のお知らせ

ITBFによる発表：

2024年1月18日に開催されたITBFのウェブセミナーは、サラブレッド業界関係者、獣医師、一般のファンなど933人もが参加登録を行い成功裏に終わりました。6大陸44ヶ国から、またタイムゾーンにして実にイギリス時間の-7時間から+11時間までの時間帯をまたぐ範囲から参加があり、セミナー自体は一部ライブ配信の部分に加え、事前に録画されたビデオの放映する形で実施されました。

「国際的なサラブレッド事業の道なり」と題された講演では、ランウェイズ・スタッドのオーナーでジェネラル・マネージャーでもあるカーステン・ラウジング氏の大変興味深い半生を紹介し、ラウジング氏の生涯をかけた生産への情熱と知識に迫りました。サラブレッドに関するあらゆることに夢中になった少女時代から、ランウェイズ・スタッド生産馬の4世代目となるアルピニスタが2022年の凱旋門賞を優勝するまでの道なりが語られ、講演ビデオの放映後には、ラウジング氏がその膨大な生産の知識を活かしてライブ配信で参加者からの質問に答え、生産の未来についての考えも語りました。

もう一つの講演はグラスシックネスに関するもので、これまでこの疾病がこのような場で世界的に注目され、獣医師、生産者、そして馬主を含む重要な関係者を対象に取り上げられたことはなかったと思われます。

専門家である馬感染性疾患サーベイランス(EIDS、旧国際疾病情報収集センター)の疫学・疾患サーベイランス担当ディレクターである(ドクター)リチャード・ニュートンと、モレダン研究所の主任研究員である(ドクター)バス・ウェルズが、この疾病についての講演を行い、質疑応答にも参加しました。

両名の講演では、致死率が80%にもものぼり、今なお不明な部分が多いこの疾病について分かっていることが紹介され、特に、同疾病の原因やきっかけを理解し、将来的に馬の命が救えるように、この疾病に関して行われている研究をどのように世界的に支援できるかが焦点となりました。世界各国の馬主、生産者、獣医師からこの疾病に関するデータ(過去の症例も含む)の提供が望まれているという説明もありました。このような取り組みは研究を大きく前進させ、この疾病の謎を解く上で大きな助けになることは間違いありません。

馬感染性疾患サーベイランス(EIDS)、そしてITBFが発端となったその疾病報告システムは馬の伝染性疾患の国際的な伝播を抑える上で革新的な役割を果たしてきました。EIDSは、今後世界各国から同機関に提出される疾病報告にグラスシックネスの情報(症例が出た大まかな地域のみを特定)も含まれるようにすることを提案しているところです。これからも生産界が協力して、グラスシックネスを克服するために効果的に情報を交換することが期待されます。

このITBFウェブセミナーの録画動画が <https://www.international-tbf.com/2024/01/19/2024-itbf-webinar-video-recording/> で一般公開されましたことをお知らせいたします。どうぞご視聴ください。

ITBF 事務局 Sarah Carmichael

Tel: +44 0774 7065264 E-mail: info@international-tbf.com